

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 産業教育・キャリア教育担当

内線: 6764

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B31	県立高校キャリア教育総合推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06	次代を担う人財育成	
					分野施策	030620	確かな学力と自立する力の育成		
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促すため、キャリア教育を充実させる。</p> <p>(1) 外部人材を活用したキャリア教育推進事業 (人件費) △1,700千円</p> <p>(2) 外部人材を活用したキャリア教育推進事業 (人件費以外) △63千円</p> <p>(3) 男女が共に活躍するためのキャリア意識向上プロジェクト △56千円</p> <p>予算の節減及び見込みを下回ったことによる減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 外部人材を活用したキャリア教育推進事業 (人件費) 12,339千円</p> <p>(イ) 就職支援アドバイザーの人的費部分</p> <p>イ 外部人材を活用したキャリア教育推進事業 (人件費以外) 1,258千円</p> <p>(イ) 就職支援アドバイザー派遣校の人的費以外の部分</p> <p>(イ) 四者面談会の実施</p> <p>ウ 男女が共に活躍するためのキャリア意識向上プロジェクト 1,247千円</p> <p>(イ) 地域企業経営者による講演会</p> <p>(イ) キャリア教育意識向上講習会</p> <p>(イ) フォローアップ講習会</p> <p>(イ) 民法改正の対応に関する研修会</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>高校生一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育をより一層推進する。このために、様々な外部教育力を積極的に活用する。</p> <p>(3) 事業成果</p> <p>豊かな人間性や社会性を育成することにより、将来にわたって社会的・職業的に自立する力を育成することができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>各事業において、外部人材の適切な活用が図られている。そのために他団体の連携を強めながら事業を実施していく。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア・イ: 就職支援アドバイザーの勤務日数等が当初の見込みを下回ったことによる減額</p> <p>ウ: 予算の節約による減額</p>						
2 事業主体及び負担区分									
(1) (一部 国1/3・県2/3)									
(2) ~ (3) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.4人=13,300千円									
			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
予算額		国庫支出金	使用料・手数料						
決定額	△1,819							△1,819	13,025
現計額	14,844	2,565	16,166					△3,887	